

岡垣町

こども・若者ワークショップ 2026

《報告書》



令和8年8月

岡垣町

【目次】

1. 事業の概要	1
1) 目的	1
2) 内容	1
3) プログラム	1
2. ワークショップの記録	2
1) ねらいとテーマ	2
2) グループごとの結果	3
3. 全体のまとめ	15
4. 参加者アンケート	17
5. おわりに	19
6. 資料	20

1. 事業の概要

1) 目的

こどもまんなか社会を実現するためには、当事者であるこどもの意見を聞き、取り入れることはもちろんのこと、大人や地域、社会の理解促進に取り組む必要がある。

今回のワークショップをこどもたちの社会参加のきっかけにするとともに、こどもの意見をまわりの大人や地域社会に伝え、こどもの意見に対するフィードバックをすることで、全世代へこどもまんなか社会への理解をさらに広げることを目的とする。

2) 内容

【日 時】令和8年8月5日（水）9：30～12：00

【場 所】おかがき総合福祉保健センター「いこいの里」研修室2

【対 象】岡垣町在住の小学4年生から高校生世代

【参加者】19人 ・小学生11人（4年生1人、5年生1人、6年生9人）
・中学生 7人（1年生5人、2年生1人、3年生1人）
・高校生 1人（1年生1人）

3) プログラム

時間	内容	
9:30	開会	■あいさつ（義経副町長） ■ファシリテーター紹介（社会福祉協議会：田之上）
9:45	自己紹介	■ファシリテーター・参加者自己紹介 ■アイスブレイク（ペーパータワーゲーム）
10:05	導入	■こどもまんなかのイメージ …イメージの見える化 ・こどもまんなかとは？ ・めざす姿の共有 ■今日のルール
	ワーク ショップ	【こどもたちの現実と理想の整理】模造紙1 ①夏休み、どんな風に過ごしてる？ … これまでの夏休みの過ごし方《現実》 ②やりたくても、できないことは？ … 本当は、こんな風に過ごしたい！《理想》 （ひとりで／友達と／みんなで） ③それができる場所は？ 【まとめ】模造紙2 ④こんな居場所にしたい！ … みんなの居場所イメージ（具体的に自由な発想で） … あったらいいなあ！（ヒト、モノ、道具など） … 3つのルール（みんなで決めて守ること） 【ワークの流れ】※それぞれ①～③を繰り返す ①個人ワーク … 各自考えて付箋紙に記入 ②意見の共有 … 発表して用紙に置いていく ③全員ワーク … 意見の集約・模造紙に記入
11:25	まとめ	■発表 …みんなが1回は出番があるように発表する ■写真撮影（各グループ・全体）
11:55	閉会	■事務連絡（こども未来課）

2. ワークショップの記録

1) ねらいとテーマ

岡垣町こども・若者ワークショップは、今年度で3回目を迎えた。過去2年間のねらいとテーマ、ワークショップで話し合った内容は、以下のとおりである。

1年目 (令和6年度)	ねらい：岡垣町こども計画の策定に際し、こどもたちの多様な意見を取り入れられるようテーマを細かく設定して実施。
	テーマ：こどもが実感できるこどもまんなか社会の実現
	内 容：1. 「こどもまんなか社会」ってどんなイメージ？ 2. 「幸せだなあ」と感じるのはどんな時？ 3. あなたにとって、今の社会は「こどもまんなか」？ 4. あなたが使ったことのある町の施設は？ 5. 先生にも友達にも親にも相談できない…どうする？ 6. 「こどもまんなか社会」の実現のための私の願いごと
2年目 (令和7年度)	ねらい：ゆるやかなテーマ設定でこどもたちの自由な発想を引き出し、それに対する大人の反応を促すことで、こどもの意見表明とおとなの意識改革の広がりを一体的に捉えて実施。
	テーマ：いま、大人に伝えたい。私たちが考えていること。
	内 容：1. こんな時が幸せ 2. こんな学校だったらいいな 3. こんなこと知ってもらいたいなあ

今年度は、「こどもの居場所づくり」にテーマを絞り、こどもたちのより自由で具体的な発想を引き出すことをねらいとしてワークショップを行った。

3年目 (今年度)	ねらい：こどもたちの声を聞き、こどもたちが「行きたい」「やってみたい」「そこに居たい」と思えるような居場所づくりについて考える。 ※伝えあいのサイクルは継続
	テーマ：夏休みに過ごしたいみんなの居場所を作ってみよう！
	内 容：1. 夏休み、どんな風に過ごしてる？ 2. やりたくても、できないことは？ 3. それができる場所は？→こんな居場所にしたい！

こどもの居場所づくりに関する指針の概要②
こどもの居場所づくりを進めるに当たっての基本的な視点

各視点に共通する事項

- ① こどもの声を聴き、こどもの視点に立ち、こどもとともに作る居場所
ー こども・若者の声を聴き、「居たい」「行きたい」「やってみたい」というこども・若者の視点に立ち、こども・若者とともに居場所づくりを進めることが重要
- ② こどもの権利の擁護
ー こども基本法等を踏まえ、こどもの権利について理解し守っていくとともに、こども自身がその権利について学ぶ機会を設けることも重要
- ③ 官民の連携・協働
ー 居場所の性格や機能に応じて、官民が連携・協働して取り組むことが必要

こどもの居場所づくりにおける4つの基本的な視点

ふやす ～多様なこどもの居場所がつくれる～

- ・地域の既に居場所になっている資源やこども・若者が居場所を持っているか等実態を把握する。
- ・学校や児童館、公民館など既存の地域資源を柔軟に活用して居場所づくりを進める。
- ・新たに居場所づくりを始めない人を、多面的にサポートする。
- ・持続可能な居場所づくりが進められるよう、ソフトとハードの両面を支える。
- ・災害時においてこども・若者が居場所を持てるよう配慮する。

つなぐ ～こどもが居場所につながる～

- ・居場所に関する情報をまとめ、可視化し、こども・若者自身がつけられ、遊びやすくする。
- ・こども・若者の興味に即した居場所づくりにするなど、こども・若者が利用しやすい工夫を施す。
- ・自分で居場所を見つけにくいこども・若者も、幅広い手段を講じ、居場所につながるようにする。

みがく ～こどもにとって、より良い居場所となる～

- ・こども・若者の心身の安全が確保され、安心して過ごせる居場所づくりを進める。
- ・こども・若者が居場所づくりに参画し、こども・若者とともに居場所づくりを進める。
- ・どのような過ごし、誰と過ごすかを意識した居場所づくりを進める。
- ・居場所同士や関係機関が対話し、連携・協働した地域全体の居場所づくりを進める。
- ・環境の変化によるこども・若者のニーズに対応した居場所づくりを進める。

ふりかえる ～こどもの居場所づくりを検証する～

- ・居場所づくりの検証の必要性は高いが、効果的な指標は定まっておらず、今後の重要な検討課題である。こどもの居場所の多様性と創造性を担保しつつ、理念を踏まえた指標の検討が必要である。

※出典「こどもの居場所づくりに関する指針（概要版）」（こども家庭庁）

こども・若者ワークショップ2026 参加者募集！

ミッション
夏休みに過ごしたい
みんなの居場所を
つくってみよう！

暑い夏休み、町の施設を自由に使えることになったら…
君たちはどんなことをしてみたいかな？
どんな人の力が必要？ ルールを決めなくちゃ！
夏休みがワクワク楽しくなる居場所をつくってみよう！

日時 8月5日(水) 9:30～12:00
場所 いこいの里
対象 岡垣町在住の
小学4年生～
高校生世代

申し込み
こども・若者ワークショップ2026参加申込書
裏面を全て読んでから、申し込んでください。

申込締切
7月24日(金)

QRコード

※今年度の参加者募集チラシ

2) グループごとの結果

テーマごとに①から③を繰り返し、1人しか出なかった意見も消さず、みんなの意見を尊重して1枚の模造紙にグループとしての意見をまとめた。



※結果には、こどもたちの意見を正確に伝えるために、①で付箋紙に書かれた内容を記載している。
 ※模造紙2の「場所」については、すべての参加者がイメージを共有できる「体育館」に設定した。

【1班】



《メンバー》

小学4年生
 小学5年生
 小学6年生
 中学1年生
 高校1年生

《模造紙1：現実と理想の整理》

■夏休み、どんな風に過ごしてる？（これまでの夏休みの過ごし方）

- | | |
|---------------|------------------------|
| ・部活！！に行く | ・水遊び |
| ・絵を描いている | ・昼ね |
| ・家でダラダラしている | ・勉強 |
| ・プールに行ったりしていた | ・生徒会 |
| ・ゲームクリエイター | ・スマホ |
| ・友達と家で勉強 | ・宗像でカラオケ |
| ・友達と未来館に行っている | ・習い事 |
| ・高校で勉強（授業） | ・家でダラダラ |
| ・習い事 | ・だがしやさんやコスモスにみんなで行っている |
| ・友達と遊ぶ | ・岡垣町内でいろんなイベントに行っている |
| ・宿題を家でしている | ・町外に出かける |
| ・ひきこもり | ・家で自学、勉強をする |

■やりたくても、できないことは？（本当はこんな風に過ごしたい）

①ひとりでやりたいこと

- | | |
|-----------|---------------------|
| ・小さいカフェ | ・よあそびしたい、よるイオンに行くとか |
| ・ライブに行きたい | ・無りょうで使えるすずしいしせつで遊ぶ |

- ・ 自転車でのぞのそばの道を走る
- ・ 一人で読書ができる場所がほしい
- ・ 英検対策講座（勉強）受けたい

- ・ おとまり会
- ・ 勉強
- ・ 大きなお祭り（夜）
- ・ 夏祭り
- ・ 大人数で勉強会
- ・ 室内の遊び場（小学生用）

- ・おなじしゅみ同志であつまって楽しむ所
- ・すごい所でみんなでちょっとダラダラできる所
- ・みんなで屋内と屋外の両方で遊べる所がほしい
- ・みんなで花火をする
- ・岡垣町で採れた野菜や果物を自分たちでとりたい
- ・花火大会

- ・ゲームができるところ
- ・映画を見る
- ・ライブボーカル
- ・もっと部活に行きたい！
- ・すずしい所で勉強

- ・ 大きいゲームセンターに行きたい
- ・ 友達と川に入りたい（大人がいる時）
- ・ きがるに近くのプールに友達といきたい
- ・ 勉強できる場所があれば行きたい
- ・ だれにもじやまされず1人で勉強したい

- ・ サンリーアイ
- ・ たかくら神社
- ・ 海（波津）
- ・ 情報プラザ
- ・ はるおかのプール
- ・ 体育館
- ・ 学校（教室）
- ・ 学校のプールをそうじしてつかう
- ・ 中央公園
- ・ 体育館
- ・ 学校のプール
- ・ 学校の校庭
- ・ サイクリング
- ・ こどもセンター
- ・ 教室

- ・中央公民館
- ・体育館
- ・学校の運動場
- ・学校の体育館
- ・サイクリングロード
- ・こども未来館
- ・教室

- ・ 公民館
- ・ サンリーアイ
- ・ サンリーアイ
- ・ はるおかのプール
- ・ いこいの里の研修室
- ・ 未来館
- ・ ほたる祭り
- ・ 中央公民館のテニスコート

これまでの 過ごし方	勉強(家(4) 高校(1)) 5人 友達と遊ぶ(外) 4 習い事 2人 カラオケ 1人 家でタラタラ 6人 水遊び、プール 2人 (スマホ、音楽を聴く、睡眠) 買い物 1人 部活 2人 ケム 1人		
本当は、こんなふうに過ごしたい！	ひとりでやりたいこと カラオケ、カフェ、お散歩で犬の散歩をする、ライオン、動物園、水族館、自然観察、登山、釣り、読書、映画鑑賞、旅行、大食い大会、花火大会、英会話教室	友だちとやりたいこと - フォル川に行きたい② - ケムセンター・ケムカでできることにいきたい② - ライフ・ポレ・カルを自分でしたい - もっと部活に行きたい - 涼しいところで静かに勉強③ - えいがを見る	みんなでやりたいこと - すすし屋でみんなでおしゃべりしながら食べる所 1人 - しみじみして集まる場所 1人 - 室内の遊び場 (小学生用) 1人 - おとまり会 1人 - 花火 2人 - 勉強会 2人 - 祭りに参加 2人 - 室内で外で遊ぶ場所 1人 - 田舎町で自然野菜を収穫 - 自分たちでキャンプ 3人 - プログラム作り 1人
	どんな場所？ 学校(体育館、教室、アトリエ、運動場) 本郷館 海 サン・パイ いこいの里 ほろおか 情報プラザ 公民館 高倉神社 ほたる祭 キョウコウロク		

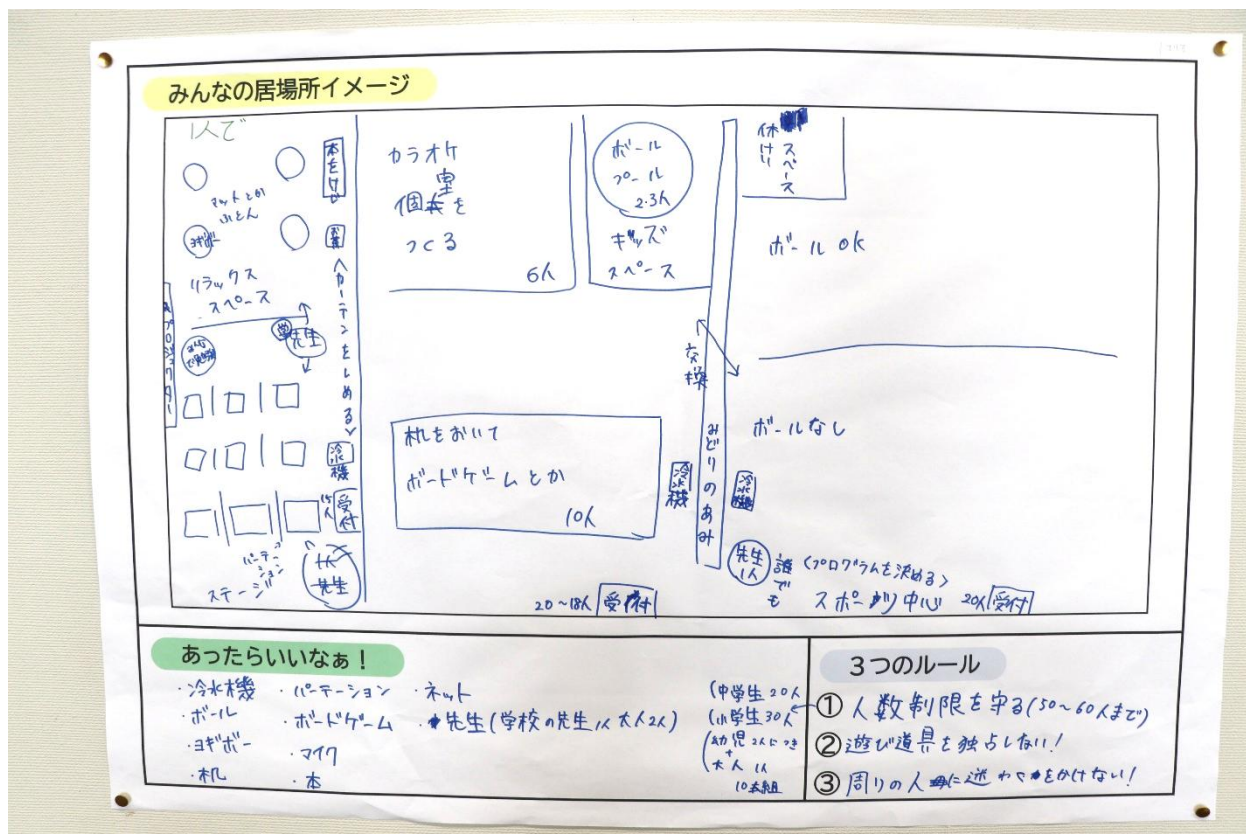
《模造紙2：まとめ～こんな居場所にしたい！～》

■あったらいいなあ！（ヒト、モノ、道具など）

- ・冷水機 ・机 ・ヨギボー ・パーテーション
- ・ボール ・マイク ・ネット ・ボードゲーム
- ・本 ・先生（学校の先生1人、大人2人）

■3つのルール

- 1) 人数制限を守る（50～60人まで） 2) 遊び道具を独占しない
- 3) 周りの人に迷惑をかけない



➡「スポーツを軸にしながら、多様な遊びを組み合わせる」

1班では、体育館の中心的使用方としてスポーツやボール遊びが想定されている一方で、それだけではなく、ボールプール、カラオケ、ボードゲームなど、身体を動かす活動とは性質の異なる遊びも配置されている。また、活動ごとに人数が示されているエリアがあり、体育館を「何でも自由に使う場所」とするだけでなく、それぞれの活動をどの程度の人数で行うのかという、具体的な利用イメージまで考えられていることが分かる。さらに、ルールについても細かく考えられており、自由な利用と同時に、安全に、みんなで気持ちよく使うための一定の約束が必要だと捉えていることがうかがえる。

今回は、こどもたちがイメージしやすい体育館を居場所に設定したため、どうしても「体を動かすための場所」と連想しがちであるが、こどもたちは身体活動と遊び、交流を組み合わせた多目的な空間として捉えていることが読み取れる。特に、活動の種類と人数まで具体化されている点から、こどもたちは「楽しいこと」だけではなく、他者と空間を共有するための条件についても一定の認識を持っていると考えられる。

【2班】



《メンバー》

小学6年生

小学6年生

小学6年生

中学1年生

中学2年生

《模造紙1：現実と理想の整理》

■夏休み、どんな風に過ごしてる？（これまでの夏休みの過ごし方）

- ・ プール・アクアシアン
- ・ プールに行く
- ・ 友だちの家であそぶ
- ・ プールに行く
- ・ 友だちとお出かけする
- ・ 外で遊ぶ
- ・ プールに行く
- ・ 家でゲームをする
- ・ 宿題をやる（家）
- ・ 家で宿題する
- ・ 家で勉強
- ・ 学校での部活
- ・ サンリーアイで遊ぶ（室内）
- ・ 家でゴロゴロする
- ・ 友だちと勉強会（サンリーアイ）
- ・ 家でピアノの練習
- ・ おばあちゃんの家でもする（宿題）
- ・ サンリーアイの図書館で本を読む
- ・ ゲーム・友達の家
- ・ ゲームする（家）
- ・ 家で宿題
- ・ じゅくの宿題（家）
- ・ 宿題（家）
- ・ いろいろなイオン

■やりたくても、できないことは？（本当はこんな風に過ごしたい）

①ひとりでやりたいこと

- ・ 運動ができる場所
- ・ 読書をたくさんする
- ・ ねる
- ・ 家で好きな音楽を聞く
- ・ 家でゴロゴロ
- ・ テレビを好きなだけ見る
- ・ おじいちゃん おばあちゃんの家に行く。
- ・ 本をかう
- ・ 好きなものをたくさん食べる
- ・ ゲーム
- ・ 家でダラダラ
- ・ 家でゲーム

②友達とやりたいこと

- ・ お絵かき
- ・ 友だちとりょうこう
- ・ 電車でどこかに行く
- ・ 友達と旅行
- ・ プール
- ・ お出かけ（買い物）
- ・ とまる（家）
- ・ 友だちの家におとまり
- ・ おとまり会
- ・ りょうこう
- ・ 本屋さんに行って、本をたくさん買う
- ・ ゲーム
- ・ ゲーム
- ・ 友だちを家によんでゲーム
- ・ 友だちといっしょにゲーム
- ・ 友だちと買い物
- ・ 友だちとおとまり会

③みんなでやりたいこと

- ・ドライブ
- ・遊園地
- ・動物園
- ・スイーツめぐり
- ・旅行
- ・水族館
- ・ショッピング
- ・おにごっこ。
- ・いっしょに料理をつくる
- ・他の県に遊びに行く。
- ・カフェめぐり
- ・ディズニーに行く。
- ・ゲームセンター

■それができる場所は？

- ・サンリーアイ
- ・図書館
- ・家
- ・幼稚園・保育園
- ・サンリーアイ
- ・友だちの家
- ・家
- ・いこいの里
- ・家
- ・中央公民館
- ・イオン
- ・サンリーアイ
- ・学校の体育館
- ・サンリーアイ
- ・学校
- ・家
- ・家
- ・公民館
- ・公民館
- ・サンリーアイ
- ・学校（図書室）
- ・サンリーアイ
- ・学校
- ・イオン
- ・学校・体育館・家庭科室

過 ご し ま 方 の	・プールに行く④ ・外に出る②③ ・家で宿題(勉強)⑦ ・家でピアノの練習① ・サンリーアイへ行く③ ・家でゴロゴロ① ・家で遊ぶ④ ・学校での部活①		
本 当 は 、 こ ん な ふ う に 過 ご し た い ！	ひとりでやりたいこと ・家でゲーム(テレビ)③ ・お勉強④ ・運動④ ・おじいちゃんの家に行く① ・おばあちゃん① ・家でゴロゴロ③ ・音楽を聞く①	友だちとやりたいこと ・おとまり会④ ・ゲーム④ ・旅行③ ・買い物③ ・プール① ・電車でどこかへ行く① ・お絵かき①	みんなでやりたいこと ・外出⑤ ・旅行③ ・○○めぐり② ・ドライブ① ・料理を作る① ・おにごっこ
	どんな場所？ ・学校(体育館・家庭科室・図書室)⑤ ・幼稚園・保育園⑦ ・家⑤ ・友だちの家① ・イオン④ ・図書館① ・サンリーアイ⑤ ・いこいの里① ・公民館①		

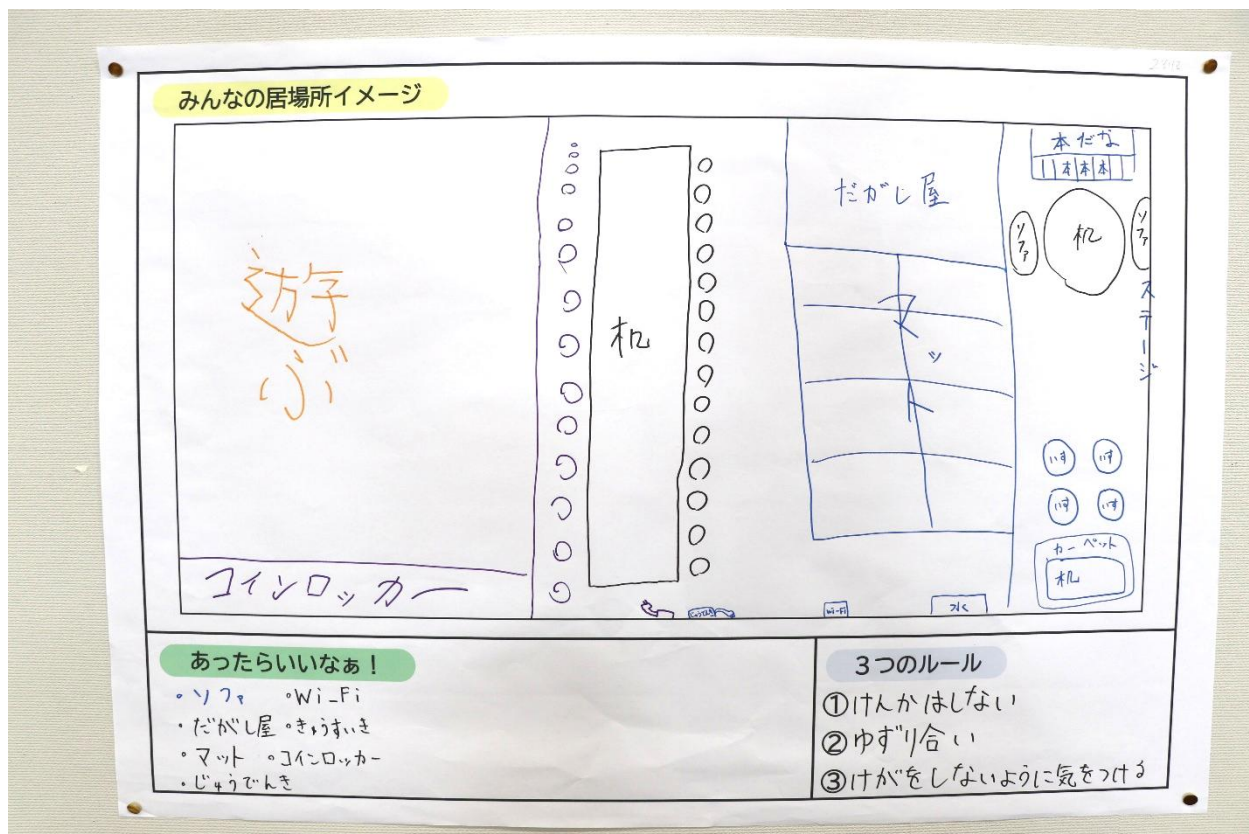
《模造紙2：まとめ～こんな居場所にしたい！～》

■あったらいいなあ！（ヒト、モノ、道具など）

- ・ マット ・ ソファ ・ だかし屋 ・ コインロッカー
- ・ ソファ ・ W i - F i ・ きゅうすいき

■3つのルール

- 1) けんかはしない 2) ゆずり合い 3) けがをしないように気をつける



➡「遊ぶだけでなく、居心地よく滞在できる場所」

2班では、だかし屋、大きな机、ソファ、Wi-Fi、マット、コインロッカー、じゅうたんなどのアイデアが描かれている。ここで重要なのは、遊びそのものの内容よりも、体育館で快適に過ごすための環境や設備が多く挙げられていることである。「だかし屋」は目的や機能が明確である一方、ソファやじゅうたん、マットなどは、必ずしも何かの活動をするためのものではなく、むしろ、座る、休む、話す、くつろぐといった滞在そのものを支える要素である。また、コインロッカーなど、荷物を置く場所も考えられている。

この案からは、こどもたちが居場所としての体育館に求めているものが、単純な「遊具」や「スポーツ設備」だけではないことが分かる。つまり、「何かをするために体育館へ行く」のではなく、「体育館に行って、そこで好きなように過ごす」という利用のあり方が想定されており、「活動の場」から「滞在できる居場所」への広がりとして捉えることができる。特にソファやじゅうたん、マットなどの存在は、今回こどもたちがイメージしやすい居場所として設定した体育館に限らず、どのような場所であっても身体的・心理的にくつろぐことのできる空間をつくりたいというこどもたちの意識の表れとして興味深い意見である。

【3班】



《メンバー》

小学6年生

小学6年生

小学6年生

中学1年生

中学1年生

《模造紙1：現実と理想の整理》

■夏休み、どんな風に過ごしてる？（これまでの夏休みの過ごし方）

- ・ プール・アクアシアン
- ・ サンリーアイで遊ぶ（室内）
- ・ ずっと家にいる
- ・ いろいろなところで友達と遊ぶ
- ・ たまに友達と遊ぶ
- ・ じゆく
- ・ 宿題（家）
- ・ 家で友達と電話してる
- ・ 宿題勉強、家で
- ・ 家で友達とあそぶ
- ・ 家でゲーム
- ・ 福津イオンで映画を見る
- ・ 犬をなでる
- ・ 家でのおんびりしている
- ・ 家で宿題
- ・ TVを家で見ている
- ・ 家でゲーム
- ・ 読書
- ・ 家でバスケ、体育館
- ・ ごろごろ家でいる
- ・ 宿題、家で
- ・ 家、友達の家で宿題や勉強など
- ・ 体育館でバレーボール
- ・ ラジオ体操
- ・ ねこ（犬）を家で愛でる
- ・ 家でごろごろ
- ・ 武道場・剣道・白雲
- ・ 公園で友達とあそぶ
- ・ ひま（家）
- ・ 寝る、家で
- ・ 家でねる

■やりたくても、できないことは？（本当はこんな風に過ごしたい）

①ひとりでやりたいこと

- ・ 本を読む
- ・ A I と仲よくなりたい
- ・ 本屋に行きたい
- ・ せまいへやで一人でねこをめでたい
- ・ 寝たい！！
- ・ もっとねたい
- ・ おかしをたくさん食べる。
- ・ おかしいっぱい食べたい！
- ・ ゲーム
- ・ ゲームしたい！！
- ・ TVをみる
- ・ アニメを見たい

②友達とやりたいこと

- ・ バレーボール
- ・ 本屋に行きたい
- ・ 東京に行きたい！
- ・ 宇宙1周したい
- ・ 天体観測をしたい
- ・ 千葉
- ・ 宇宙一周したい！！
- ・ 海外旅行
- ・ 地球1周したい
- ・ 北海道にいきたい！！

- ・ 日本全国まわりたい

③みんなでやりたいこと

- ・ キャンプしたい
- ・ おでかけ
- ・ ユニバいきたい
- ・ おでかけしたい
- ・ 宇宙りょこう
- ・ おでかけに行きたい
- ・ おでかけに行きたい
- ・ ハウステンボス遊園地
- ・ ハウステンボス行きたい
- ・ ユニバ行きたい
- ・ バレーボール
- ・ 宇宙りょこう
- ・ バスケ
- ・ 旅行に行きたい
- ・ ディズニー行きたい
- ・ 旅行したい！！
- ・ ハウステンボスに行きたい！！
- ・ 鹿児島に行きたい
- ・ ディズニーにいきたい！！

■それができる場所は？

- ・ 海
- ・ 海
- ・ 山
- ・ 駅
- ・ 山
- ・ 山
- ・ 駅
- ・ サンリーアイ
- ・ サンリーアイ
- ・ みらいかん
- ・ 公園
- ・ 岡垣イオン
- ・ 学校
- ・ サンリーアイの近くのプール
- ・ サンリーアイ
- ・ サンリーアイ
- ・ こども未来館
- ・ 公園
- ・ イオン
- ・ 岡垣イオン
- ・ サンリーアイの運動場
- ・ 海（はつ）
- ・ こどもみらいかん
- ・ はるおか
- ・ 学校
- ・ こんぴら山

過 こ れ し ま で の	家でゴロゴロ(x5) スポーツ(x3) 家で勉強(x6) 愛犬・愛猫と遊ぶ(x3) 友達と過ごす(x5) 家でゲーム(x2)		
本 当 は、 こ ん な ふ う に 過 こ し た い！	ひとりでやりたいこと	友達とやりたいこと	みんなでやりたいこと
	家でゴロゴロ(x4) AIと仲良くなる(x1) 本読 (x2)	りょこう(宇宙・山・海)(x15) 遊ぶ(x12) スポーツ(x1) 本(x1) 天体観望(x1)	宇宙りょこうに行く(x3) スポーツ(x2) キャンプ おでかけ(x6)
ど ん な 場 所？	山(x4) サンリーアイ(x5) 未来かん(x3) 駅(x2)	イオン(x3) 学校(x2) 公園(x2) 海(x3) ハルオカ(x2)	

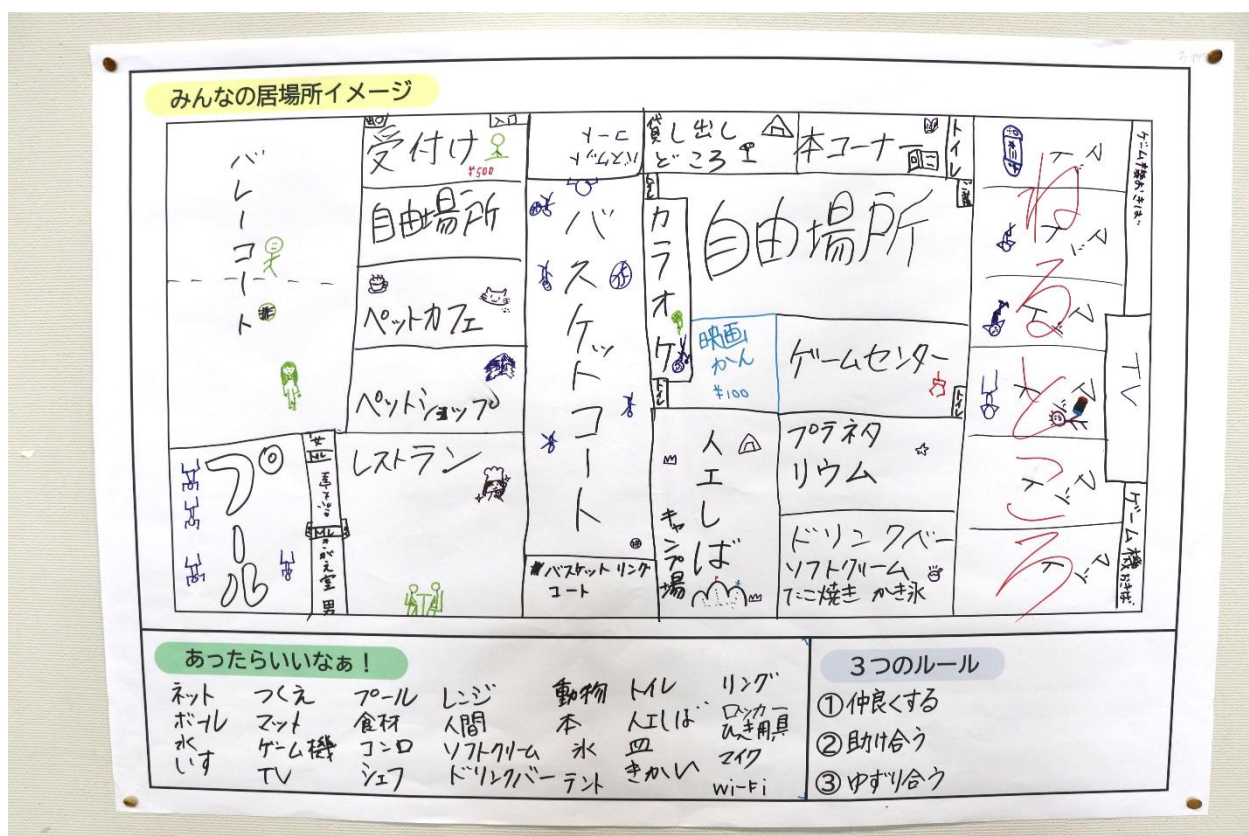
《模造紙2：まとめ～こんな居場所にしたい！～》

■あったらいいなあ！（ヒト、モノ、道具など）

- | | | | | |
|-------|--------|---------|---------|-----------|
| ・ ネット | ・ ボール | ・ つくえ | ・ 本 | ・ マット |
| ・ 水 | ・ いす | ・ TV | ・ 氷 | ・ ゲーム機 |
| ・ プール | ・ 食材 | ・ コンロ | ・ 皿 | ・ シェフ |
| ・ レンジ | ・ 人間 | ・ 動物 | ・ テント | ・ ドリンクバー |
| ・ リング | ・ ロッカー | ・ ひっき用具 | ・ マイク | ・ ソフトクリーム |
| ・ トイレ | ・ 人工しば | ・ きかい | ・ Wi-Fi | |

■3つのルール

- 1) 仲良くする 2) 助け合う 3) ゆずり合う



➡「体育館の中に、さまざまな「行きたい場所」をつくる」

3班では、非常に多くのアイデアが一つの空間の中に描かれている。ゲーム、カラオケ、プリクラ、だがし屋、レストラン、本屋、映画、スポーツ、バスケットボール、プール、ペットに関する場所、ドリンクバーなど、かなり幅広い活動・施設が想定されている。さらに、「自由場所」も描かれており、具体的な設備や活動を配置する一方で、用途を限定しない場所も必要とされていることがわかる。

この案の特徴は、体育館を“さまざまな「やってみたい」「行ってみたい」が集まる複合的な空間”として捉えていることである。こどもたちの発想は、みんながイメージしやすい居場所として設定された「体育館」という枠を超えて、普段の生活の中で魅力を感じているさまざまな場所を詰め込んでいる。この案は、まるで体育館を「小さなまち」のような空間として構想しているようにも見える。さらに「自由場所」が含まれていることから、設備をたくさん設けることだけが重要なのではなく、何をするかを自分で決められる余白も同時に求められていることが分かる。

【4班】



《メンバー》

小学6年生

小学6年生

中学1年生

中学3年生

《模造紙1：現実と理想の整理》

■夏休み、どんな風に過ごしてる？（これまでの夏休みの過ごし方）

- ・家でゴロゴロ
- ・ゲームする
- ・宿題（家）
- ・サンリーアイで家族と遊ぶ
- ・勉強（家）
- ・推しの配信・動画を見る
- ・朝から夕方までゲーム
- ・外で遊ぶことが少ない
- ・おじいちゃんの家で宿題をせずにゴロゴロ
- ・土日は、家ですごすことが多い
- ・おばあちゃん、おじいちゃんの家にあそびに行く
- ・学童保育に月～金にいつている。
- ・課題を友達とする（家・ジョイフル・マック）

■やりたくても、できないことは？（本当はこんな風に過ごしたい）

①ひとりでやりたいこと

- ・静かなところで勉強
- ・甘いものをお店で食べる
- ・親にぜったいに話しかけられない部屋で、ゲームしたりゴロゴロすきほうだいしたい
- ・1日集中して勉強をやってみたい
- ・朝から夜まで気になる本を読みあさる
- ・おくないで体を動かせる場所がほしい

②友達とやりたいこと

- ・カラオケに行く
- ・映画を見に行く
- ・体育館をかりることができたら、友達とおにごっこなどをしたい。
- ・岡垣町は高齢者向けのしせつが多いので岡垣で遊べない
- ・近くに楽しく勉強する場所がないので、マック、スタバとかつくってほしい…
- ・サンリーアイでプリクラをとりたい。プリ機を置いてください。
- ・大人数や1人、数人でも遊べるカラオケがほしい
- ・友達だけつれて、とまりに行きたい。

③みんなでやりたいこと

- ・みんなで外で遊びたい
- ・たくさん人が集まれる所がほしい（中高生・若者向け）

■それができる場所は？

- ・学校の体育館
- ・運動→学校の体育館
- ・勉強→小・中学校の教室
- ・楽しく友達と勉強→ジョイフル
- ・甘いもの食べる→ジョイフル等
- ・勉強→図書館（サンリーアイ）
- ・つぶれたゲオをファストフード店にしてほしい
- ・サンリーアイの二階のたたみの部屋
- ・ほたる祭り以外に、夏祭りをしてほしい!!
- ・読書→サンリーアイの図書館、学校の図書室

- ・サンリーアイにプリ機をおいたら絶対行列できると思う!!!
- ・夢の体験塾でつかったしせつ（わかしおそう）

これまでの 過ごし方	○課題 マンで×1 友達と×1 ○勉強×1 ○友達と ○サンリーアイで遊ぶ×1 ○児童体育×1 ○推薦の配信動画×1 ○ゲーム×2 ○家でゴロゴロ×4 ○おじいちゃん おばあちゃんの家×2		
本当は、こんなふうに過ごしたい！	ひとりでやりたいこと ○静かなところで一日集中して勉強×2 ○朝から夜まで読書×1 ○1人屋内で体を動かす×1 ○甘いものとお店で食べる×1 ○親に絶対に話しかけられない部屋で、ゲームしたりゴロゴロ好き放題する×1	友達とやりたいこと ○マックやスタバで勉強×1 ○体育館でおにごっこ×1 ○映画×1 ○カラオケ×2 ○プリクラをとる×1 ○友達だけでおとまり×1 ○小・中・高生向けの施設で遊ぶ×1 （岡垣町で）	みんなでやりたいこと ○たくさんの方が集まれるところがほしい×1 （中高生・若者向け） ○外で遊ぶ×1
どんな場所？	○サンリーアイ ○図書館 ○児童館 ○学校 ○教室 ○体育館 ○図書館	○ジョイフル ○わかしおそう ○ぶれたん ○ふたふた ○ファミリ ○はるの ○豊栄	○はるの ○豊栄

アイスブレイク

ペーパータワーゲーム

用意するもの（各グループ）

- ・A4用紙30枚
- ・はさみ1本



制限時間内に、どのチームが一番高く積み上げられるかな？
成功のカギはコミュニケーション！

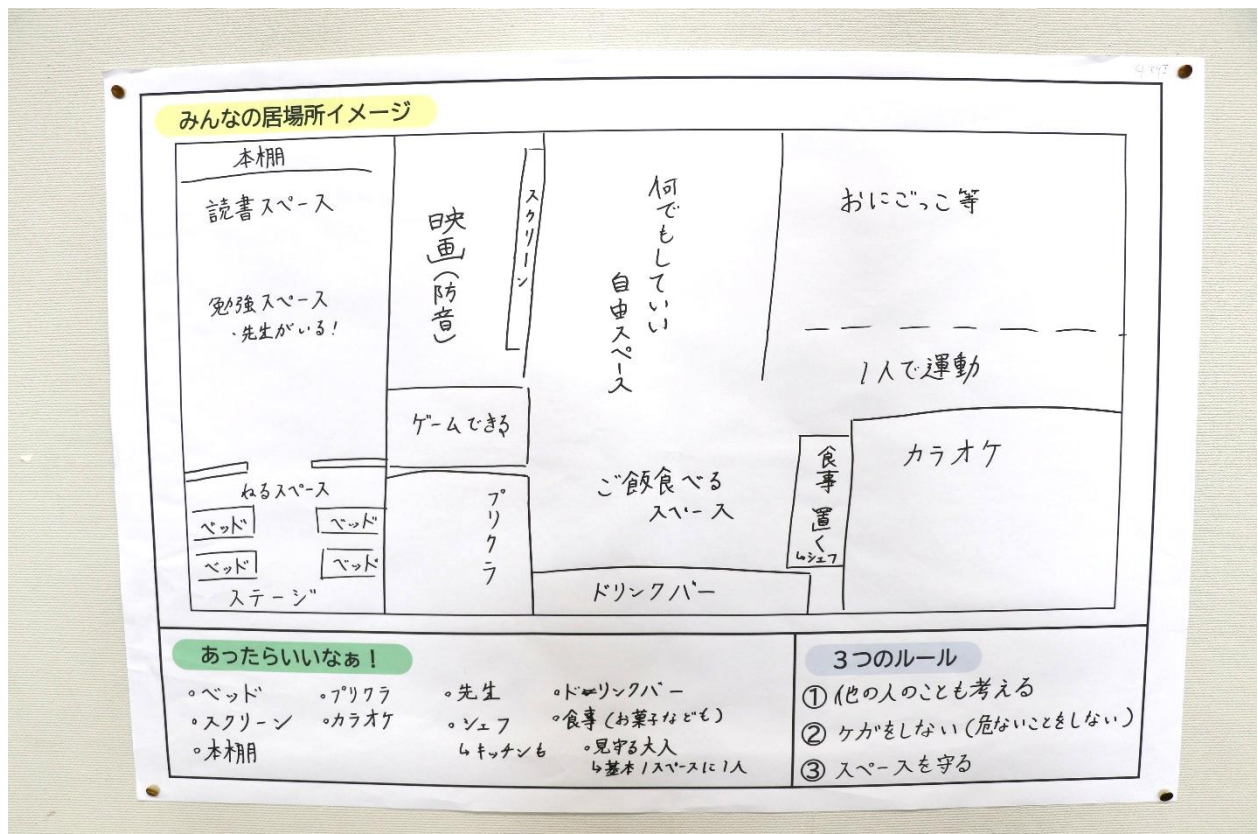
《模造紙2：まとめ～こんな居場所にしたい！～》

■あったらいいなあ！（ヒト、モノ、道具など）

- ・ ベッド ・ プリクラ ・ カラオケ ・ スクリーン
- ・ 本棚 ・ 先生 ・ シェフ（キッチンも）
- ・ 食事（お菓子なども） ・ ドリンクバー
- ・ 見守る大人（基本1スペースに1人）

■3つのルール

- 1) 他の人のことも考える 2) ケガをしない（危ないことをしない）
- 3) スペースを守る



➡「みんなで遊ぶ場所」と「一人で過ごせる場所」の両立

4班では、本棚・読書、勉強、ゲーム、映画、プリクラ、カラオケ、食事・お菓子、ドリンクバー、休むための場所、1人で運動する場所、おにごっこ等、さまざまな過ごし方が描かれている。注目したいのは、みんなで行う活動だけではなく「1人で運動する」「読書する」「勉強する」など、一人で過ごすことを想定した場所が含まれている点である。また、先生などの「人」の存在も描かれており、空間や設備だけではなく、そこで過ごすことを支える人的な環境についてもイメージされている。

この案では、こどもにとっての居場所が必ずしも「みんなと楽しく過ごす場所」だけではなく、友達と遊びたいときには遊べる一方で、一人でいたい・静かに過ごしたい・本を読みたい・自分のペースで運動したいという選択も保障されることが求められている。みんながイメージしやすい場所として、体育館という広い空間が設定された中で「交流できる」「一人でいられる」という両方の意見が出されたのは、こどもを一括りにして“みんなで遊ばせる”という発想ではなく、一人ひとりの気分や興味、他者との距離感の違いを受け止める居場所にしたいという思いが示されていると考えられる。

3. 全体のまとめ

本ワークショップでは、「夏休みに町の施設を自由に使えるとしたら、どのように使ってみたいか」という問いを設定し、全ての参加者がイメージを共有できる体育館の利用方法について自由な発想を促した。その結果、スポーツやボール遊びといった体育館の既存の機能に加え、ゲーム、カラオケ、読書、勉強、飲食、休憩、交流、一人で過ごすことなど、多様な活動が提案された。

これらの結果を横断的に捉えると、こどもたちは体育館を、特定の目的のために利用する「施設」としてではなく、**その時々興味・関心や気分に応じて、自ら過ごし方を選択することのできる空間**として捉えていることを示唆している。

体育館の「機能」のひろがり

1班の案では、スポーツやボール遊びを中心としながら、ボールプール、カラオケ、ボードゲーム等が組み合わされている。これは、体育館に対する既存の「運動・スポーツ施設」という認識を基盤としつつ、その機能を遊びや交流へと広げる発想として捉えられる。

3班では、ゲーム、カラオケ、プリクラ、だかし屋、レストラン、本屋、映画、スポーツ等、さらに多様な機能が一つの空間に配置されている。ここでは体育館が、単一の目的を持つ施設ではなく、**複数の活動や体験が共存する複合的な空間**として構想されている。

このことから、こどもたちにとって魅力的な居場所とは、特定の活動に特化した空間ではなく、**複数の選択肢を内包し、その日の状況や個人の関心に応じて利用方法を変化させることのできる柔軟な環境**であると考えられる。

「活動する場」から「滞在する場」へ

2班では、だかし屋、大きな机、ソファ、Wi-Fi、マット、コインロッカー、じゅうたん等が提案されている。これらは、スポーツやゲームといった具体的な活動を成立させるための設備とは異なり、**その場所に滞在し、くつろぎ、他者と会話し、休息するための環境条件**として捉えることができる。この点は、今回のワークショップにおける重要な特徴の一つである。こどもたちは、居場所を「何かをするために訪れる場所」としてだけでなく、「**そこにいること**」そのものが許容される場所として想定している。

これは、こどもの居場所を考える際に、設備やプログラムの提供だけではなく、**目的を持たずに滞在することができる余白や、居心地のよさを保障する環境**が重要であることを示唆している。

多様な「過ごし方」を保障する空間

4班では、読書、勉強、ゲーム、映画、カラオケ、食事、休憩、おにごっこ等に加えて、「1人で運動する」といった過ごし方も描かれている。ここでは、**集団で活動することだけでなく、一人で過ごすことや、他者と一定の距離を保つことも利用の一形態として認められている**。この点から、こどもの居場所を「こども同士の交流を促進する場所」とのみ捉えることには限界があると考えられる。むしろ、こどもの年齢、性格、興味、当日の気分や人間関係等の違いを前提として、「**誰かと一緒に過ごす」「一人で過ごす」「活動する」「休む**」といった**複数の選択肢が同時に保障されること**が、居場所としての重要な条件になると考えられる。

「自由」と「共存」の両立

今回のワークショップでは、「自由に使いたい」という意向だけではなく、「けんかをしない」「ゆずり合う」「周囲のことを考える」「けがをしない」など、利用にあたってのルールについてもこどもたちから提案されている。

このことは、子どもたちが「自由」を無制限な行為として捉えているわけではないことを示している。むしろ、他者も同じ空間を利用することを前提として、**自分の自由と他者の自由を両立させるための一定の規範が必要であることを理解している**と解釈できる。

したがって、今後このような空間を実際に運用する際には、大人が一方的に利用規則を設定するのではなく、子どもたちが「どのように使いたいか」「何を大切にしたいか」「どのようなルールが必要か」を考えるプロセスを設けることが重要である。これは、単なる利用者として子どもを位置づけるのではなく、**空間の使い方やルール形成に關与する主体として子どもを位置づけることにつながる**。

「子どもまんなか社会」における公共施設活用の可能性

近年、我が国では「子どもまんなか社会」の実現に向けて、子ども・若者の意見を聴き、その意見を社会や施策に反映することの重要性が示されている。また、子どもの居場所づくりにおいても、子ども・若者の視点に立ち、子どもとともに居場所をつくっていくことが重視されている。

重要なのは、子どもたちから出された意見を単なる「施設への要望」として捉えるのではなく、**子どもたちが自身がどのような環境を「居場所」として認識しているのかを示す大切な意見として捉えることである**。今回の結果からは、子どもたちにとっての居場所には、

- ・ 多様な活動を選択できること
- ・ 自分で過ごし方を決められること
- ・ 友達と交流できること
- ・ 一人で過ごすこともできること
- ・ 目的を持たずに滞在できること
- ・ 他者と共存できること
- ・ 自分たちの意見やルールが反映されること

といった複数の要素が含まれていることが示唆されている。

したがって、町の施設の活用を考える際にも、単に「夏休みの遊び場を提供する」という発想から、**子ども自身が利用方法を選択し、他者との関係を築きながら、自分らしく過ごすことのできる公共的な居場所という視点が求められる**。

総括

以上のことから、本ワークショップで示された子どもたちの発想は、体育館に対する単なる設備・機能上の要望ではなく、**子ども自身が考える「居場所のあり方」を可視化したものとして捉えることができる**。子どもたちは体育館を、スポーツをするための単一目的型の施設から、遊び、学び、休息、飲食、交流、一人で過ごすことなど、多様な行為を受け止めることのできる**柔軟な空間**として捉えていた。また、「自由に使いたい」という希望と「他者と共存するためのルール」が同時に示されたことから、子どもたちの主体性とは、単に大人から制約されないことではなく、**他者との関係性を含めて、自分たちの環境を自ら考え、つくっていくこととして理解することができる**。

今後、夏休み等の子どもの居場所として公共施設活用の可能性を探る中で、施設やプログラムを大人側から一方的に提供するのではなく、「**子どもに何をしてもらおうか**」よりも「**子どもとともに、どのような場所をつくるか**」という視点への転換が重要である。「子どもまんなか」の居場所づくりとは、**子どものために大人が場所を用意することだけではなく、子ども自身の声を出発点として、その声を空間のあり方や運営の仕組みに反映し、子どもと大人がともに場所をつくっていくことである**。

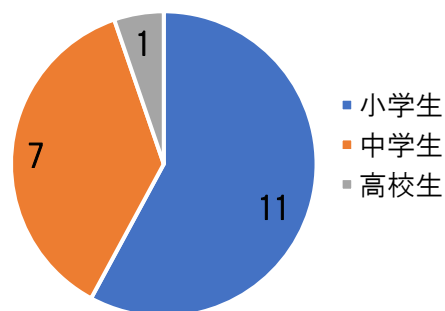
今回、子どもたちが描いた体育館は、その可能性を具体的に示すものである。子どもたちの視点から「**子どもが自分らしく過ごし、選択し、関わり、主体的に使いこなすことのできる居場所**」へと捉え直していくことは、これからの「子どもまんなか社会」における子どもの居場所づくりの新たな方向性の一つになり得る。

4. 参加者アンケート

○回答者の属性

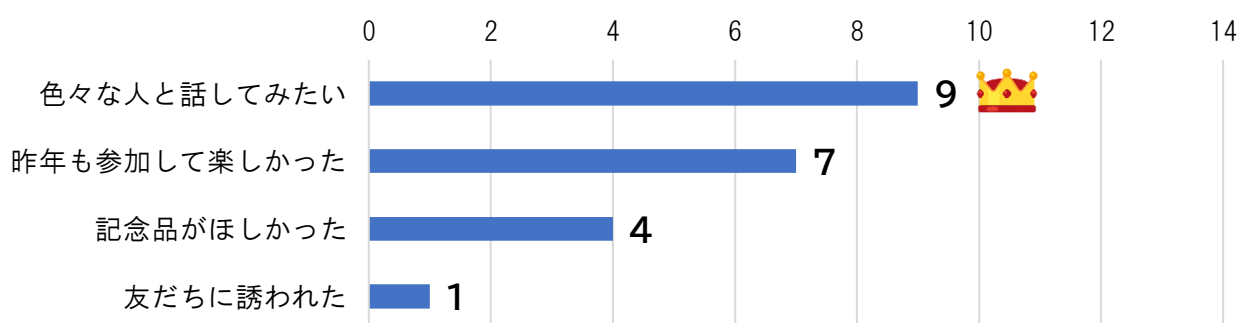
回答	小学生	中学生	高校生
参加者	11	7	1
回収数	11	7	1

回収率 100%



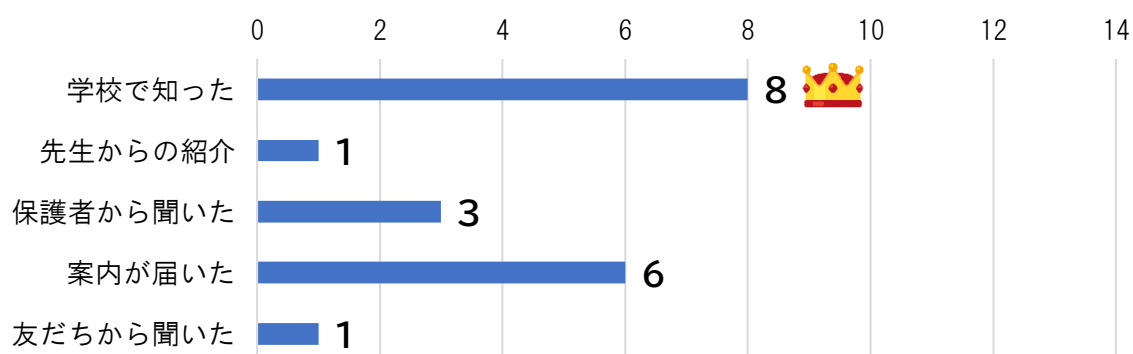
①申し込み理由【複数回答可】

回答	色々な人と話してみたい	昨年も参加して楽しかった	記念品がほしかった	友達に誘われた
小学生	8	1	1	1
中学生	1	5	2	0
高校生	0	1	1	0
合計	9	7	4	1
割合	47.4%	36.8%	21.1%	5.3%



②申し込んだきっかけ

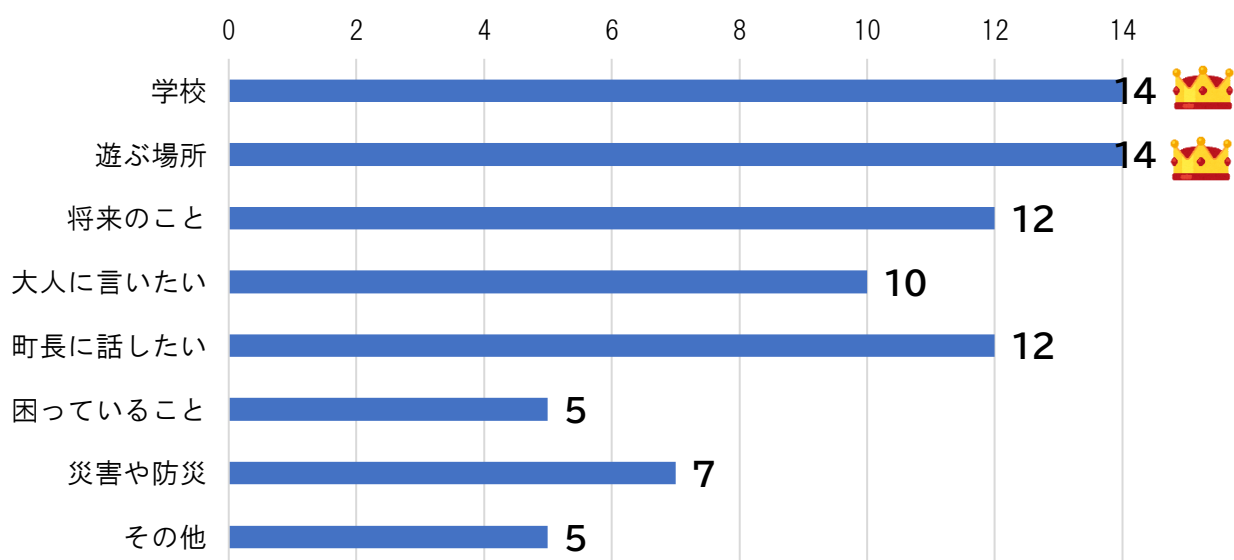
回答	学校で知った	先生からの紹介	保護者から聞いた	案内が届いた	友達から聞いた
小学生	5	1	3	1	1
中学生	3	0	0	4	0
高校生	0	0	0	1	0
合計	8	1	3	6	1
割合	42.1%	5.3%	15.8%	31.6%	5.3%



③ワークショップで話してみたいテーマ

回答	学校	遊ぶ場所	将来のこと	大人に言いたい	町長に話したい	困っていること	災害や防災	その他
小学生	8	9	6	5	7	4	4	2
中学生	6	5	6	5	5	1	3	2
高校生	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	14	14	12	10	12	5	7	5
割合	73.7%	73.7%	63.2%	52.6%	63.2%	26.3%	36.8%	26.3%

《その他》・スポーツ ・みんなの居場所イメージでかいたのを、岡垣町のどこだったら実現できるか
・いきることについて ・公共しせつのこと ・新しいアミューズメント施設



④参加した感想【自由記述】

- ・とても楽しかったから、来年も来たら来たいです。
- ・こういう考えがもてて、楽しかった。それぞれの考えを聞けて、こういう考えをもった人がいたんだと思った
- ・他の人の話を聴くことができてよかったこと。他の人の話で、にているいけんなどを、話せたりできたのでとてもよかったと思う。
- ・みんなの意見をしっかり聞くこともできたし、しっかり自分の意見も言うことができて楽しかった。
- ・知らない人と話せてよかった
- ・おもしろかった。いろんな人と協力して遊べる居場所をつくって、話しがよく進んだから、これからもコミュニケーションを大切にする。
- ・初めて会う人達で、最初は、シーンとしてたけど、最後はみんな前から知ってたみたいで、シーンじゃなくて、わいわいになって、とてもたのしかったし、こんな友達にも話したことのない話を今日あった人に話すなんてそんなに仲がよくなったんだなあと思いました。また、こんな体験をさせてもらってありがとうございました。
- ・みんな仲良くなれてうれしかった。みんなと話す力がみついた。
- ・知らない人たちとも話して意見を言って友だちになれた気がして楽しかったです。

- ・いろいろな年れいの人とたくさんのができて楽しかった。うれしかった。おもしろかったです。またきたいです。
- ・思ったより楽しかった。はんの人と仲良くなれた。
- ・今回2回目の参加でしたが、ゲームとかもあってほぼ初対面だったのが、前から知り合いだったようで楽しめました。
- ・はじめて会った人とたくさんはなせてたのしかったです。また来年もきたいなと思いました。
- ・今年も参加できてよかったし、新しい友達もできて、楽しかったから。
- ・初めて会った人とあんなに楽しくしゃべれてとっても楽しかったです。話し合った内容が実現されるとは限らないということも知りつつ、自分の考えをあらわにできてよかったです。
- ・去年とはテーマがちがうのでいろいろなことを話し合えた。絶対むりな物も書いていいので、楽しい（学校では絶対実現できないことを授業で話すとおこられる）
- ・2年目で楽しかった。
- ・受験に向けて勉強ばかりだったので、気分転換にもなって楽しかったです！！他の人の意見も聞いて、シェフとかプリクラとか思いつかないものも多く、他の班のプラネタリウムとかいいなと思いました。知らない人ばかりだったけど、みんなで協力して完成できて良かったです。
- ・それぞれがたくさんの意見を持っていて想像力がすごいなと思った。

5. おわりに

【ファシリテーターの立場から】岡垣町社会福祉協議会 田之上

早いもので、今年で3回目を迎えたこども・若者ワークショップ。今年度は、「こどもの居場所づくり」をテーマに、こどもたちのより自由で具体的な発想を引き出すことをねらいとしてワークショップを行いました。そのため、発言を制限したり否定したりすることは決してせず、安心して意見を出しあう環境を楽しんでもらうことを心がけました。

完成した模造紙を大人が見ると、もしかすると“こどものわがままな意見”に見えるかもしれません。しかし、年齢も学校も違うこどもたち同士が同じ机を囲んで意見を交わし、1枚の模造紙を完成させていく姿はとてもイキイキと輝いていました。その経過で、こどもたちは「学校では、絶対実現できないことを授業で話すと怒られる。だから、今日は楽しい」「全部実現できるとは思わないけれど、思いが伝わったらいいな」と話してくれました。大人の顔色をうかがうことなく、楽しそうに思いを伝えあう様子を見て、一人の大人として何かひとつでもこどもたちと一緒に実現したいなと思いました。

こどもたちは、ワークショップを通して、自分の本当の心の底にあるものと向き合い、それを外に発信する貴重な体験をしています。今度は、それを受けとめる私たち大人がこどもたちの意見にじっくりと向き合ってみませんか。

こどもたちの可能性は無限大です。大人もこどももみんなで知恵を出しあい、一緒にまちの未来を創っていきましょう！

6. 資料《ワークショップ当日／スライド》



【自己紹介】

★時間は、1人30秒！

★必ず言うこと

①名前 ②学校 ③好きなおかし

★ベルの合図で、次の人と交代！

【チームになろう！】

★ペーパータワーゲーム

- ①材料はA4サイズの紙30枚。
使っていい道具は「ハサミ」のみ。
- ②みんなでアイデアを出し合って、
できる限り高いタワーを作ろう！
- ③いちばん高いグループが優勝！

.....

熊鷹町こども・青年フリースクール2020

【ちょっとヒント】



- ①作戦会議5分
- ②チャレンジ5分

.....

熊鷹町こども・青年フリースクール2020

なぜ、できたんだろう？



コミュニケーション

“思いを言葉にして伝えよう”

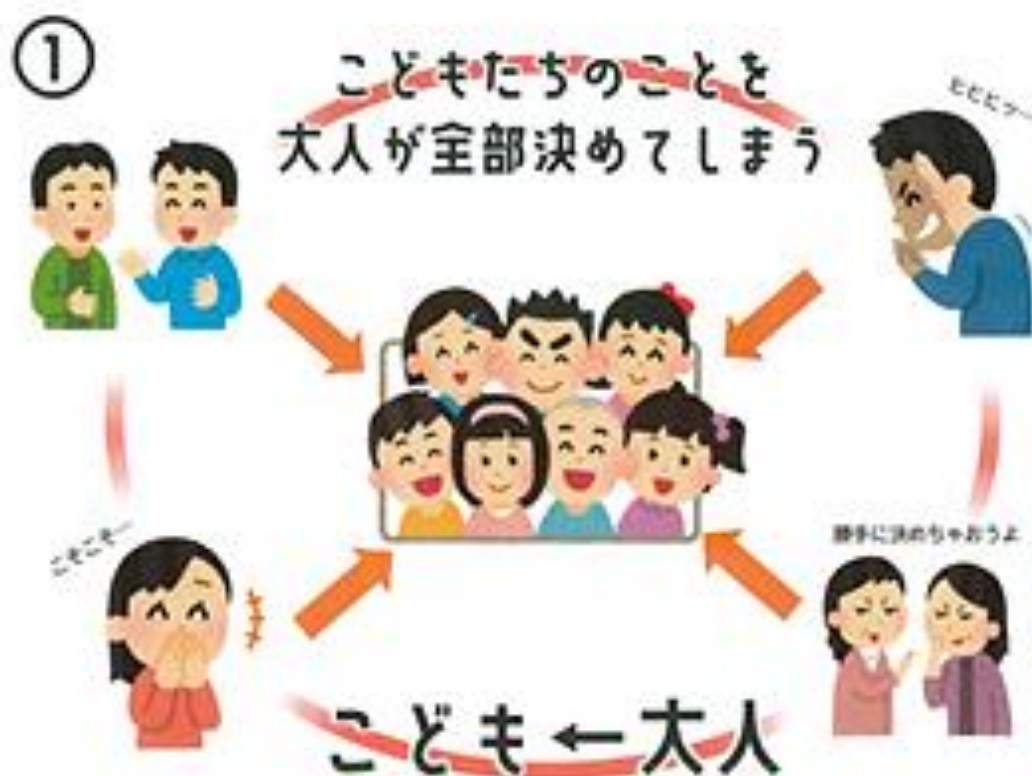
国語科子ども・書きつーワークショップ2022

【想像してみよう】

こどもまんなか社会

どんな社会のことだと
思いますか？

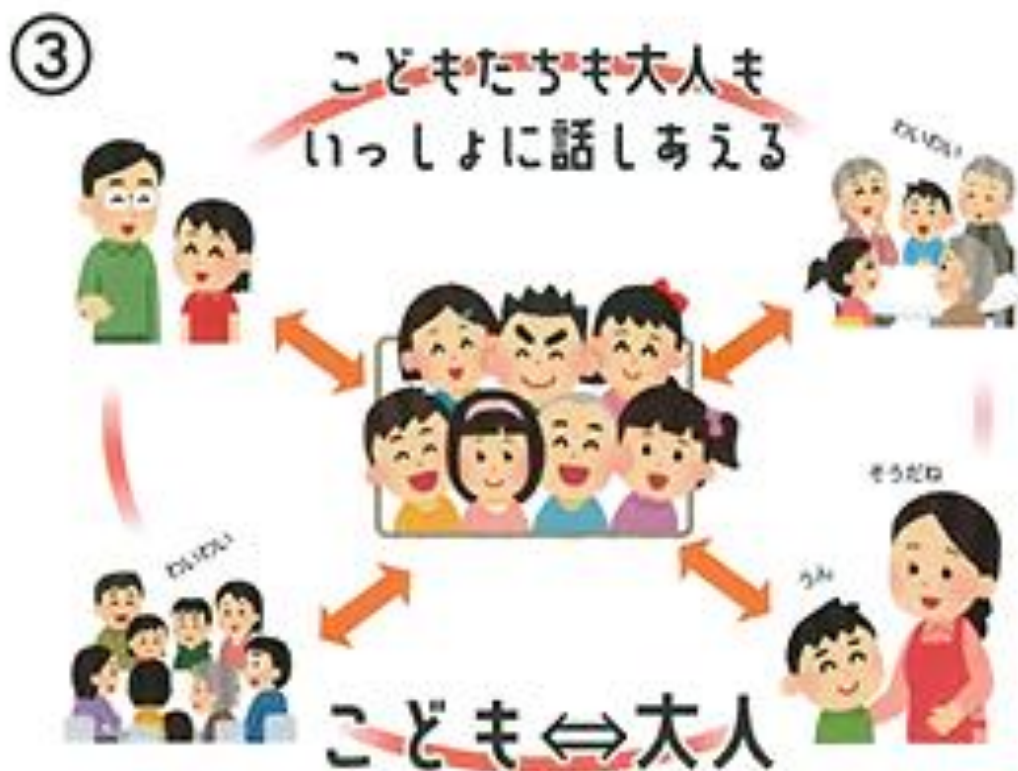
国語科子ども・書きつーワークショップ2022



※ 図解はご参考ください。※



※ 図解はご参考ください。※



熊鷹村こども・若者ワークショップ2023

【今日の目標】

③をめざして
自分たちの思いを
言葉にして伝えよう！

熊鷹村こども・若者ワークショップ2023

【4つのルール】

1. おもいきって発言しよう！
思ったことを言ってOK！
2. みんなの意見を大切にしよう！
「否定」や「さえぎり」は×
3. みんなで協力しよう！
年齢関係なし！
4. 時間を守って、楽しもう！

***** 熊鷹村こども・青年フーオリック2022

【話しあうテーマ】

- ①夏休み、どんなふうに過ごしてる？
- ②本当はやりたいことは？
- ③みんなの居場所を実現するには？

【話しあいのながれ】

- ・自分の意見をカードに書いてはる
- ・みんなて意見を確認してまとめる
- ・まとめたものを模造紙に記入する

***** 熊鷹村こども・青年フーオリック2022

模造紙のイメージ①

これまでの 過ごし方 本当は、こんなふうに過ごしたいー	①		
	ひとりでやりたいこと	友だちとやりたいこと	みんなでやりたいこと
	②		
	③ どんな場所？		

模造紙こども・高齢ワークショップ2022

模造紙のイメージ②

みんなの想像力イメージ イラストや図など 自由にデザインしてみよう！	
あったらしいなあ！ モノ、道具、ヒトなど	3つのルール ① ② きまりごと ③

模造紙こども・高齢ワークショップ2022

【発表しよう！】

- ★ 1人1回は出番があるように
みんなで協力して発表しよう！
- ★ 4つのルールを思い出して、
みんなの意見を大切にしよう！

国語科ごっこ・書写ワークショップ2022

【大人に伝えよう！】

- ★ みんなが作ってくれた模造紙は
たくさんの方に見てもらえる
場所にはり出します。
- ★ ③のように「伝えあう」ために、
大人からみなさんの意見への
メッセージも募集予定です。

国語科ごっこ・書写ワークショップ2022

岡垣町公式ホームページ
「こども・若者ワークショップ2026」掲載ページ

<https://www.town.okagaki.lg.jp/s016/040/010/workshop/20240704160950.html>



こどもたちへのメッセージ募集
※こちらから、こどもたちへメッセージをお寄せください

<https://logoform.jp/form/Ts4A/1762477>



※締め切りは10月18日(日)



ゆったり いいところ
おかがき

岡垣町こども・若者ワークショップ2026

2026（令和8）年8月
岡垣町 こども未来課

〒811-4233 福岡県遠賀郡岡垣町野間1丁目1番1号
TEL (093) 282-1211 FAX (093) 282-4000